



『私フェチなるいくんはちっぱい開発だって お手のもの1』編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★★
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★☆
何度も	★★★★☆

■感想

胸の小ささにコンプレックスを抱くひなこが、彼の「巨乳好き」発言を耳にして育乳に奮闘する姿は健気で可愛く、応援したくなります。でもその努力が思わぬ方向に作用して、感度が急上昇しちゃう展開がエロ可愛さ全開。

琉衣は彼女を大切に思いながらも独占欲をのぞかせ、甘さと嫉妬が入り混じる関係にドキドキさせられます。レビューにも多くある通り、絵柄の美しさやラブとエロのバランス感が抜群で、えっちすぎないのにしっかり興奮できるのが魅力。また、ひなこの必死さと琉衣のまっすぐな愛情がかけ合わさって、ただのH展開に終わらず「愛されることの嬉しさ」が伝わるのもポイント。

小柄&貧乳ヒロインという属性ながら、むしろそのコンプレックスをきっかけに2人の絆が深まっていく構成が秀逸です。

『私フェチなるいくんはちっぱい開発だって
お手のもの1』を今すぐ立ち読み